



市長会見の項目（概要）

1 / 2

と き：令和3年2月26日(金)14:00～

ところ：市政記者室

■ 府市港湾で連携した取組を推進しています

＜担当：港湾局総務部総務課（人事・港湾再編担当） 電話：06-6615-7707＞

【フリップ（あり）】

- ◆ 国際競争力があり、利用者ニーズに合った使いやすい港をめざして、令和2年10月1日から、大阪市と大阪府の港湾局を統合した「大阪港湾局」を共同設置し、大阪港と府営港湾（堺泉北港、阪南港、二色港、泉佐野港、泉州港、尾崎港、淡輪港、深日港）を一元管理し、事務の一体化により、人や情報を共有し、広域的な視点で連携して進めることとした。
- ◆ 令和3年度からは、本格的にさまざまな物流機能の強化をはじめ、より利用しやすい港湾の実現を図っていく。
- ◆ 具体的には、令和3年4月から、事務の効率化で生み出された人材を、港の利用促進に重点投資し、物流戦略・クルーズ船誘致戦略を積極的に推進するための担当部門を新設する。
- ◆ また、大阪港の外航コンテナ航路と府営港湾の内航ネットワークを組合せて増加した貨物、及び大阪港、府営港湾の両港に寄港する航路で輸送されるコンテナ貨物の増加分に対して補助を行う「大阪みなと貨物集貨事業」を実施し、貨物量の増加や航路の充実をめざす。
- ◆ さらに、府市それぞれで所有していた顧客情報や、共同設置後の共同集貨活動等により得られた情報を分析し、一層の集貨が見込まれる地域で府市共同セミナーを実施することで、大阪みなとの利便性をアピールするとともに、荷主と物流事業者のマッチングを行う。
- ◆ その他にも、利用者に乗船料の一部を助成する「旅客船利用推進事業（フェリー体験クルーズ）」を実施し、港の振興を図るため人の交流の機会を提供する。
- ◆ 「港と川をつなぐ舟運事業」では、大阪市域及び府域（堺市）を想定した舟運ルートにおける社会実験を実施し、民間事業者による事業化をめざす。
- ◆ クルーズ客船の誘致も、整備が進む大阪港の天保山客船ターミナルをメインターミナルとしつつ、堺泉北港と連携することで、大阪全体で「お断りゼロ」を実現する。
- ◆ 大阪港と府営港湾の強みを活かし、“ヒト・モノ・コト”がより一層交流する拠点として発展させ、“利用者に選択される港湾”をめざして、取組を進めていく。